

Swing

THE MAGAZINE
FOR
JAZZ DEVOTEES
MAY, 2010

5

昭和28年7月15日第3種郵便物認可
2010年4月20日発行(毎月20日発行発売)
第64巻第5号 通巻848号

大型連載:半世紀を超えて語られるジャズ・ジャイアンツ黄金時代

名盤のウラに記された真実ハービー・ハンコック

ニッポン・ジャズ・レコード物語(後編)日本マーキュリーとJATP公演

第60回日本ジャズメン読者人気投票結果発表

ヘニー・グッドマンへの憧れ MJOから届いたスイング黄金時代への招待状

ニッキー・ハロッド 新世代美人アーティストの第三幕 リマスタリング&ハイビジョンで魅せるビル・エバンス珠玉の名演

輸入盤の謎に迫る! Part1 伝説の美人歌手・新倉美子私が「青春ジャズ娘」だったころ

ショパンで始まるクラシカル・ジャズの愉しみ 小曾根真・ジョン・ディ・マルティナー/etc.

復活! ディスコグラフィービル・エバンス Part2

好評連載●ジャズ名盤講座:ユナイテッド・アーティストズ〜ソリッド・ステイト盤●復刻盤探訪

●山中千尋の日々[day by day]●寺島靖国の辛口談話室●新世紀幻の名盤



mhi Evidence MM01A

¥84,000(ペア,税込)

●主要規格 型式:2ウェイ
2スピーカー・密閉型、使用ユニット:ピュアアルミ・リボン型ツイーター、4.5インチ・ペーパーコーン・ウーハー、出力音圧レベル:90dB/2.83V(1m)、許容入力:75W、再生周波数帯域:65Hz~120kHz、インピーダンス:4Ω、クロスオーバー周波数:10kHz、外形寸法:152×247×229(WHD)mm、質量:4.0kg、備考:ターミネーター本体は透明絶縁体で保護されておりCE/IEC規格に適合、仕上げ:ブラック(Evidence MM01A/GB)、ホワイト仕上げのEvidence MM01A/GWはペア ¥89,250(税込)

●問い合わせ先:サエコマース株式会社(〒107-0052 東京都港区赤坂4-1-32 赤坂ビル9F TEL:03-3588-8481 URL:<http://www.saec-com.co.jp>)

音楽の心を伝える小さな巨人

mhi Evidence MM01A

魅力と使いこなし

手のひらに乗るほどコンパクトな2ウェイ・スピーカー Evidence MM01A。しかしこの小さなスピーカーが驚きのサウンドを聴かせる。なぜならこれは、数々のハイエンド・スピーカーの企画・開発・設計にたずさわってきたEd Kojima氏が「音楽の心、ミュージシャンの思いを伝えることのできるスピーカー」を目標に開発したスピーカーだからである。ここではその魅力を探ると共に、本機 능력을引き出す使いこなしを考えてみよう。 ●文:藤原陽祐

低音楽器にも想像以上の厚みと重み、空間表現もリアルで、その豊かな表現力に驚かされた

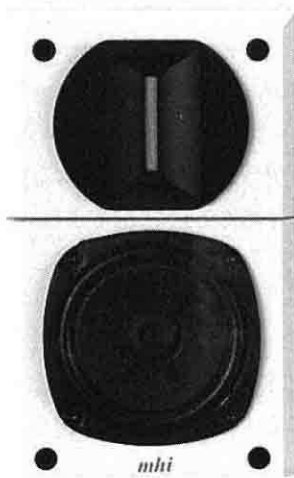
2007年、アメリカ西海岸で産声を上げたmhi(Music Heart Instrument/音楽の心を持つ装置)。パイオニアでTADの企画に携わっていた児島英資氏によって設立されたスピーカー・ブランドであり、「手頃なサイズ、価格で、音楽を豊かに再現するスピーカー」というコンセプトをかかげている。

そのデビュー作がここで取り上げるEvidence MM01Aという小型2ウェイのスピーカー・システムだ。12cm径のウーハー・ユニットは完全なオリジナル設計で、振

動板には紙コーンを採用。このユニットはフルレンジとして駆動し、10kHz以上の高域のみアルミ・リボン・ツイーターで補うというチューニングでまとめられている。

ネットワークについても、ハンダづけによる音質の劣化を避けるために、ケーブルの接点をすべてカシメ接続にするなど、相当なこだわりよう。能率は90dB。このサイズのスピーカーとしては異例の高能率だ。

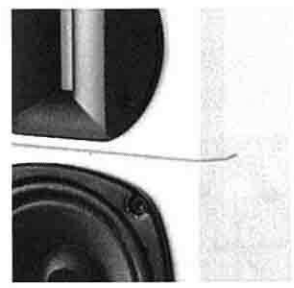
キャビネットは固さの異なる2種類の塗料を多層に塗り重ねたピアノ・フィニッシュ仕上げ。最近



▲ツイーターにはビュアルミ製の振動板を持つリボン型が採用されている。クロスオーバー周波数は10kHzと高く、さらに120kHzという超高域までの再生を実現している。
◀ホワイト仕上げのEvidence MM01A/GW(ペア¥89,250/税込)



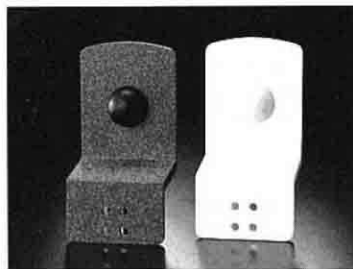
▲10kHzまでの中低域を受け持つのは4.5インチ口径のコーン型ウーハー。定評あるペーパーコーンを使い、65Hzからの再生を実現。クロスオーバー周波数が10kHzと高いため、楽音のほとんどをこのユニットから再生する。



▲エンクロージャーは3種類の厚さの異なるMDFを張り合わせた構造で美しい響きを追求。さらにバッフルのウーハーとツイーターの間に溝加工を施しウーハーの振動がツイーターに悪影響を与えることを抑えている。

セッティングのための オプション製品

Evidence MM01Aは高い再生能力を持つコンパクトなシステムだけに、セッティングなどの使いこなしで再生音は大きく変化してしまう。たとえばスタンドを使ってセッティングする場合も、スタンドの天板の大きさや強度が問題になるし、ディスクトップに置く場合もベタ置きではその魅力は半減してしまう。本体価格に比べて多少値は張るが、オプション設定のスタンドやディスクトップベースは本機の魅力を引き出す大きな武器になる。

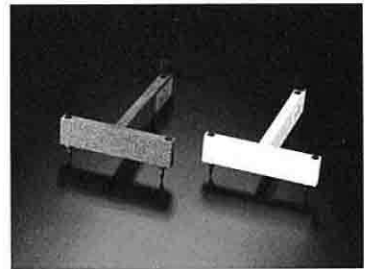


イメージエンハンサー

Evidence MIE01A

ペア¥48,300(税込)

背面や側面が不安定な場所等で、中低域の音質改善、音像定位改善に効果を発揮。ただし、本機使用時はスピーカー・ケーブルの接続にバナナプラグが必要だという。ブラック仕上げのEvidence MIE01A/DBとホワイト仕上げのEvidence MIE01A/WTあり。



ディスクトップベース

Evidence MDB01A

ペア¥44,100(税込)

MM01Aをディスクトップで使用する場合に発生する反射音の抑え、最適な試聴角度が設定可能。ブラック仕上げのEvidence MDB01A/DBとホワイト仕上げのEvidence MDB01A/WTあり。

フロアスタンド Evidence MFS01A/GB

ペア¥63,000(税込) スピーカーと同じ材料を使い、MM01Aの魅力を最大限に発揮させることを目的に設計されたもの。●主要規格 天板:152×192(WD)mm、底板:300×330(WD)mm、高さ:690mm(スパイク含む)、質量:7.0kg(1本)、カラー:ブラック

このクラスでも光沢仕上げは珍しくなくなったが、グレードは千差万別。MM01Aは鏡面に映り込む像の歪が少なく、丁寧な仕上げを印象づける。スピーカー・ターミナルについても、大型のバイワイヤリング対応と、なかなか豪華だ。

さてそのサウンドだが、本当にこの小さなスピーカーが鳴っているのか、と疑いたくなるほど、中低域が厚く、安心感のある音に驚かされる。しかもはつらつとして、エネルギーギッシュ。低域の描写も思いのほか意欲的で、バスドラ、ベースも重みがあり、ボーカルの実在感も悪くない。さすがに中、低域の音階の変化を確実に描き分けだけの分解能はないが、このサイズ

でこのボリューム感は魅力的だ。

そして確実な分割振動によって超高域まで描きだすリボン・ツイーターの恩恵なのか、空間表現も巧みだ。単に響きが豊かなだけでなく、ボーカル、楽器を確実に分離させながら、見通しのいい音場のなかに定位させていく。ダイアナ・クラールのボーカルは微妙なニュアンスまでもが克明に表現され、空間の伸縮もリアル。一体感のあるステレオイメージが実に心地いい。

純正スタンドとして、標準的なフロア・スタンドと、棚や机の上に設置する場合に便利なデスクトップベースが用意されているが、音質的には前者がお勧めだ。足元が安定することで、バスドラ、ペー

スと低音の骨格がしっかりとして、輪郭が引き締まる。ダイアナ・クラールのボーカルも音離れがよく、広い空間にフワッと浮かび上がった。後者のデスクトップベースは設置する場所にもよるが、総じて低域が締まり、明瞭度が向上する印象だ。ホールトーンが立体的に拡がり、ボーカルはすぐそばでささやくように歌うイメージ。ただ裏側にバスレフ・ポートがあるため、狭い場所に押し込むようなセッティングは避けておいた方が無難だ。

サイズ、価格を超えた豊かな表現力を備えた小さな巨人。実在感のあるサウンドを求めるジャズ・ファンにお勧めしたい。